

成長戦略には、「真の幸せ」(ウェルビーイング)を目指すことが経済成長の目的であり、手段でもある時代となり、新しい産業政策、新しい人材政策が必要となっています」とあります。

「目的でもあり手段でもある」って、ちょっとややこしいけど…。ウェルビーイングと経済成長の好循環を生み出していきたいね。

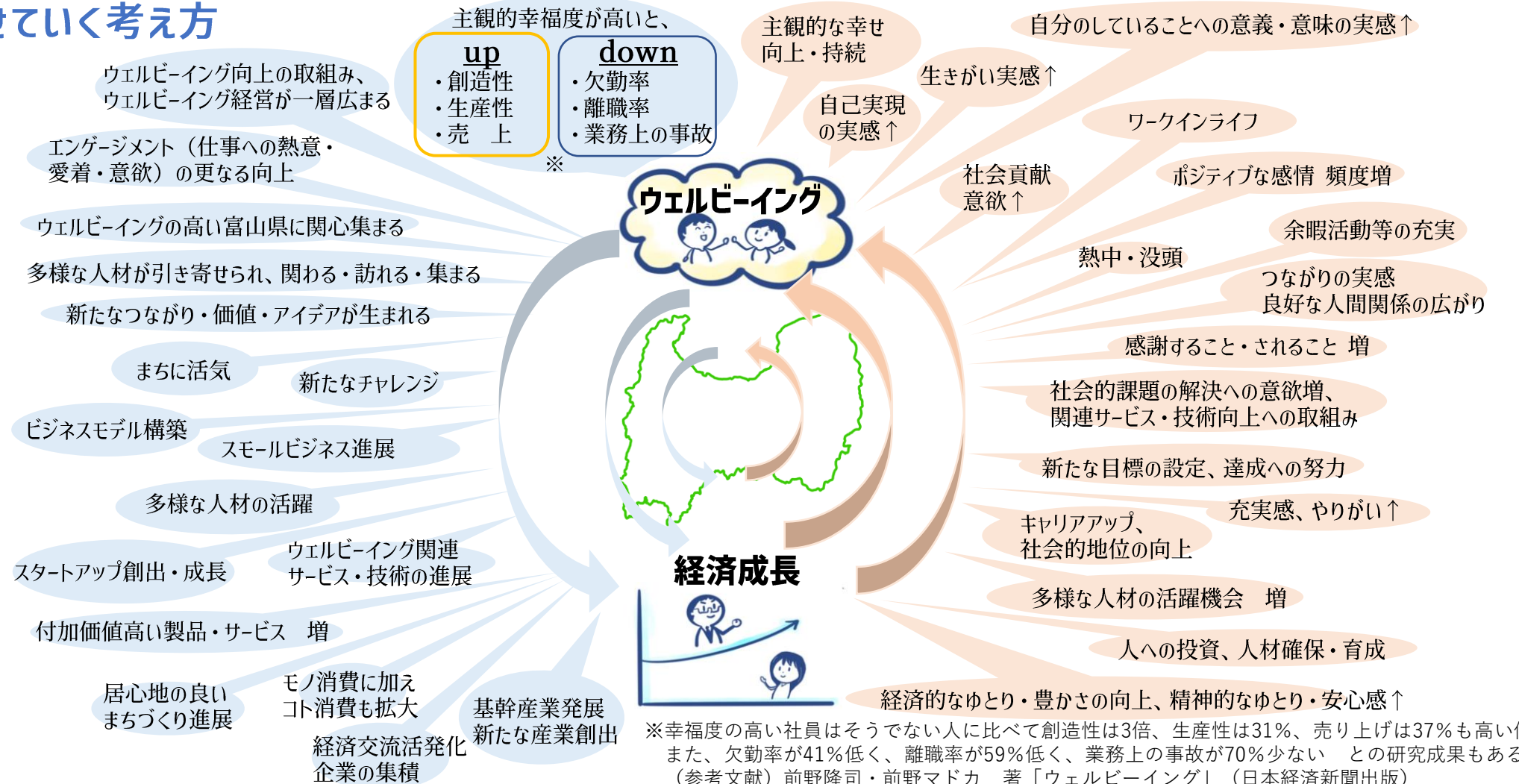


ウェルビーイングと成長戦略③ ウェルビーイング向上が経済成長の目的でもあり手段でもある？

ウェルビーイング向上と経済成長の相乗効果を生み出し、好循環させていく考え方

ウェルビーイング向上の取組み、ウェルビーイング経営が一層広まる
エンゲージメント(仕事への熱意・愛着・意欲)の更なる向上
ウェルビーイングの高い富山県に関心集まる
多様な人材が引き寄せられ、関わる・訪れる・集まる
新たなつながり・価値・アイデアが生まれる
まちに活気
新たなチャレンジ
ビジネスモデル構築
スモールビジネス進展
多様な人材の活躍
ウェルビーイング関連サービス・技術の進展
スタートアップ創出・成長
付加価値高い製品・サービス 増
居心地の良いまちづくり進展
モノ消費に加えコト消費も拡大
経済交流活発化
企業の集積

ウェルビーイング⇄経済成長の手段



ウェルビーイング⇄経済成長の目的
経済の活性化・成長による、生活の豊かさ向上、積極的な人的資本投資、つながりや生きがいの充実、社会課題への対応の進展、自己実現機会の増などを、ウェルビーイング向上につなげる

※幸福度の高い社員はそうでない人に比べて創造性は3倍、生産性は31%、売り上げは37%も高い傾向
また、欠勤率が41%低く、離職率が59%低く、業務上の事故が70%少ない との研究成果もある
(参考文献) 前野隆司・前野マドカ 著「ウェルビーイング」(日本経済新聞出版)